

令和5年次北九州市観光動態調査概要

【北九州市観光動態調査とは】

- 1～12月の観光客の動向を、観光庁が定めた基準に基づき、毎年調査・推計の上、公表するもの。

【令和5年の特徴】

- 観光客全体の延べ人数、宿泊客・日帰り客の実人数すべての項目で、コロナ禍前の水準にほぼ戻った（コロナ禍前（R1年次）と比較して、延べ人数は約92%、宿泊客、日帰り客は約96%）。
- 対前年比では、観光客延べ人数、宿泊客実人数、観光消費額について増加した。一方で、日帰り客実人数は減少した。
これは、市内客の減少が主因であり、コロナ禍以降、大きなトレンドになっていたマイクロツーリズム（近隣観光）の流れが一段落したことが影響していると考えている。
- 観光消費額増加の主な要因は、一人あたりの観光消費額の単価が、令和4年に比べ日帰りで424円、宿泊で1,159円増加したことに加え、消費額単価の高い宿泊客実人数の増加によるものである。

【調査結果】 ※詳細は添付のグラフデータをご確認ください。

◇ 観光客数（延べ人数）

2,222.2万人 前年比 +24.5% (+436.8万人)

◇ 観光地点における観光客数（実人数）

996.0万人 前年比 -11.0% (-123.1万人)

◇ 観光消費額

1,004.1億円 前年比 +21.4% (+176.8億円)

◇ 観光消費額単価

観光消費額単価

	R4年次	R5年次	前年差
日帰り	3,277円	3,701円	+424円
宿泊	22,679円	23,838円	+1,159円

◇ 外国人観光客数

26.9万人 前年比 +647.2% (+23.3万人)

◇ 産業観光客数

28.6万人 前年比 +45.2% (+8.9万人)

◇ 修学旅行生数

6.4万人 前年比 -17.9% (-1.4万人)

北九州市観光動態調査 (令和5年次)

令和6年10月
北九州市



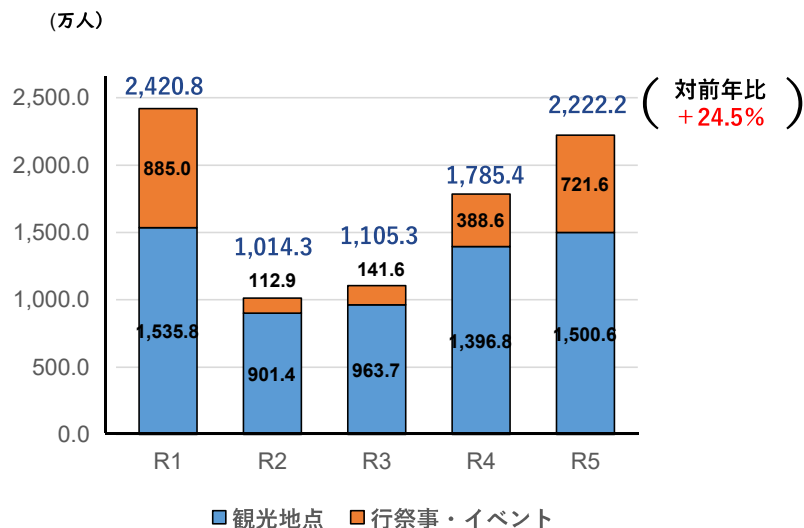
1 | 調査結果の概要

観光客数(延べ人数)

令和5年次(令和5年1~12月)に北九州市内を訪れた観光客数(延べ人数)は、2,222.2万人で、対前年比24.5%の増加。

その内訳は、観光地点を訪れた観光客数(延べ人数)が1,500.6万人で、対前年比7.4%の増加。行祭事・イベントを訪れた観光客数が721.6万人で対前年比85.7%の増加となっている。

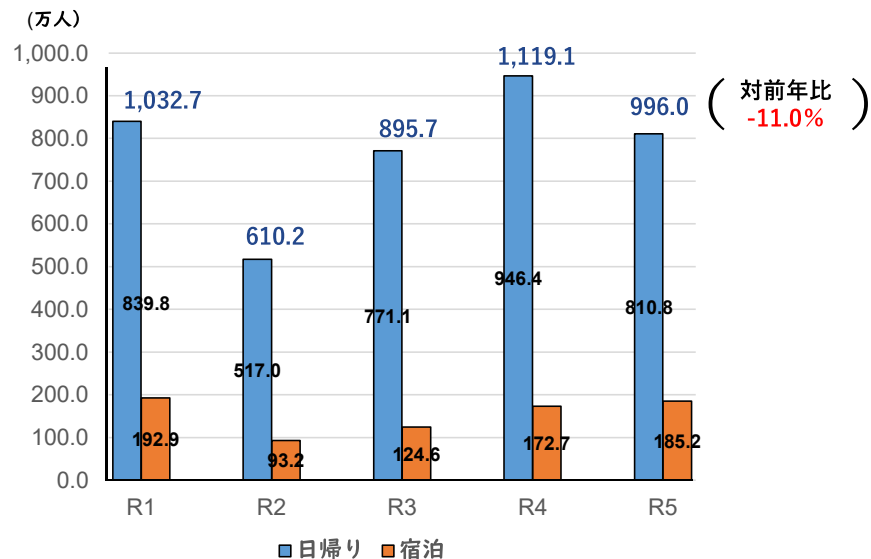
観光客数(延べ人数)の推移



観光客数(実人数)

令和5年次(令和5年1~12月)に北九州市内の観光地点を訪れた観光客数(実人数)は、996.0万人で、対前年比11.0%の減少(宿泊客数は増加したものの、マイクロツーリズムの流れが一段落したため日帰り客は減少したため)。その内訳は、日帰り客数が810.8万人で対前年比14.3%の減少、宿泊客数が185.2万人で、対前年比7.2%の増加となっている。

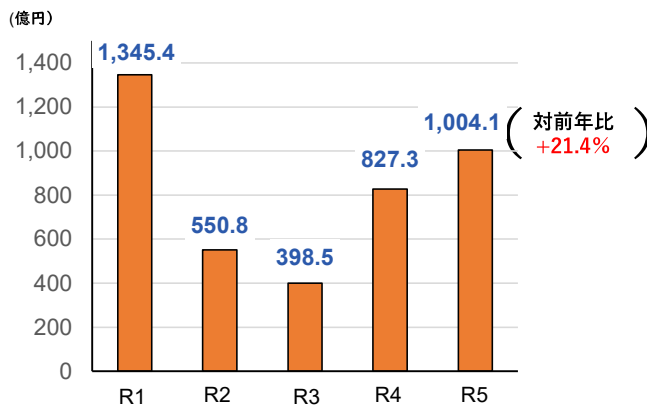
観光客数(実人数)の推移



観光消費額

令和5年次(令和5年1~12月)の北九州市内での観光消費額は、1,004.1億円で、対前年比21.4%の増加。

観光消費額の推移



(参考)観光消費額単価の推移

【日帰り】 (単位: 円/人)

	H28	R4	R5
交通費(市内)	1,899	703	764
土産代	899	261	320
飲食費	1,678	921	1,504
入場料等	860	1,392	1,113
合計	5,336	3,277	3,701
		前年差	+424

【宿泊】

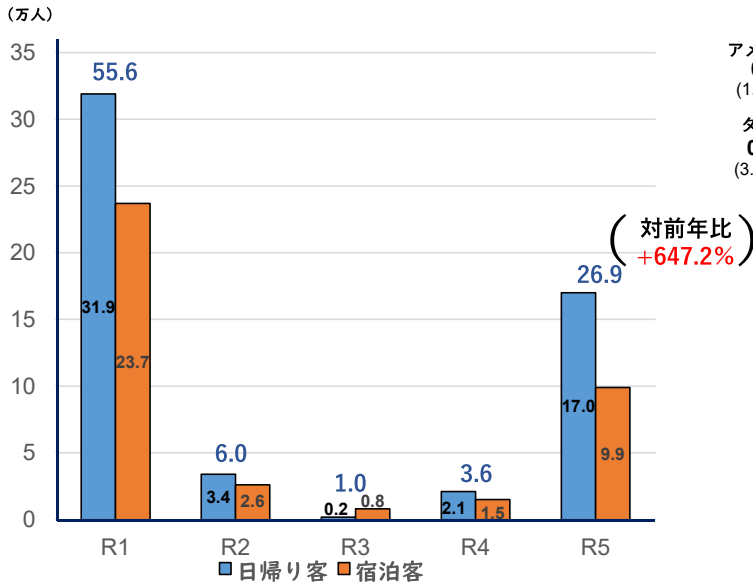
(単位: 円/人)

	H28	R4	R5
宿泊費	7,304	6,587	7,344
交通費(市内)	7,214	6,267	5,107
土産代	2,493	2,928	3,508
飲食費	4,444	5,373	6,711
入場料等	1,649	1,524	1,168
合計	23,104	22,679	23,838
		前年差	+1,159

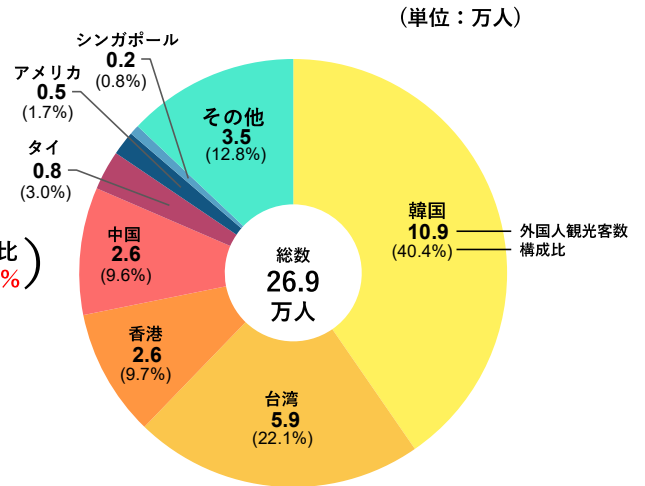
外国人観光客数

令和5年次(R5年1月～12月)に北九州市を訪れた外国人観光客は、26.9万人で、対前年比647.2%の増加。

外国人観光客の推移

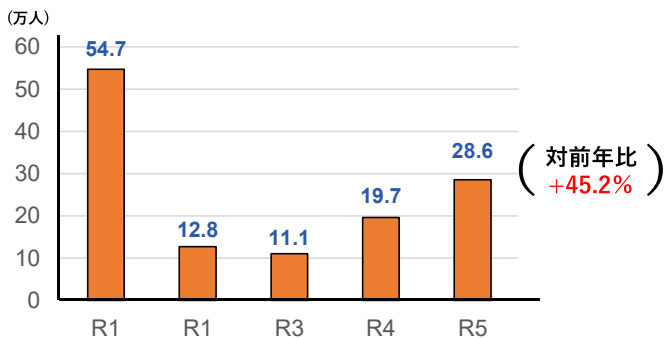


国・地域別内訳

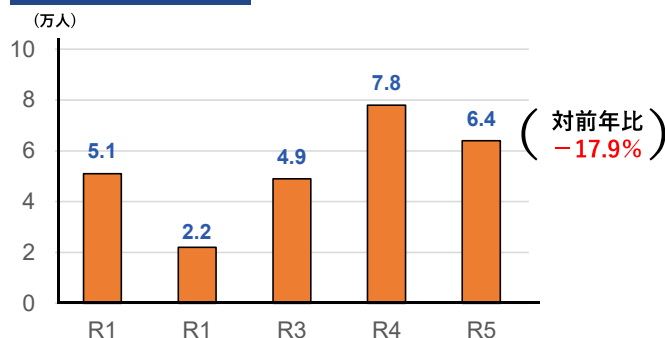


分野別・地区別観光客数

産業観光客数の推移

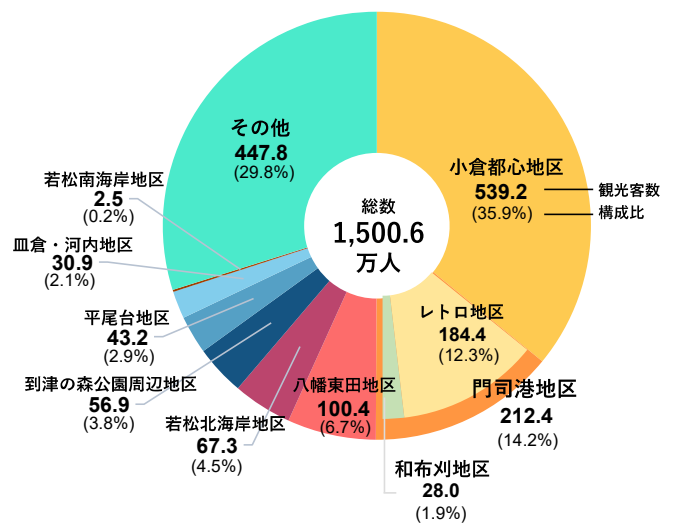


修学旅行生数の推移



地区別観光客数 (延べ人数)

(単位：万人)

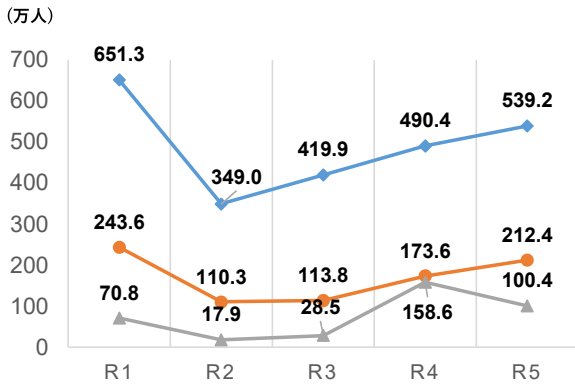


地区別観光客数

地区別観光客数の推移

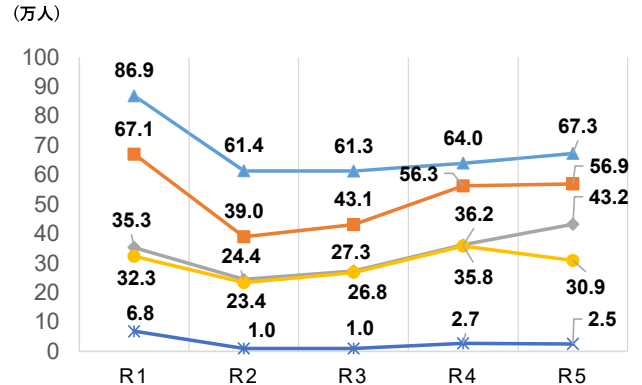
【小倉都心地区・門司港地区・八幡東田地区】

● 小倉都心地区 ● 門司港地区 ▲ 八幡東田地区



【若松北海岸地区・到津の森公園周辺・平尾台地区 他】

▲ 若松北海岸 ● 到津の森公園周辺 ▲ 平尾台地区
● 皿倉・河内地区 ★ 若松南海岸地区



主な行祭事・イベント

主な行祭事・イベント

<行祭事>

行祭事	見物・入場客数(万人)	開催時期	開催場所
わっしょい百万夏まつり	150.0	令和5年 8月 5日～令和5年 8月 6日	小倉北区
関門海峡花火大会	70.0	令和5年 8月13日～令和5年 8月13日	門司区
まつり起業祭2023	53.0	令和5年 11月4日～令和5年 11月5日	八幡東区
くきのうみ花火の祭典	30.0	令和5年 7月29日～令和5年 7月29日	若松区・戸畑区
小倉祇園太鼓	29.0	令和5年 7月14日～令和5年 7月16日	小倉北区

<イベント>

イベント	見物・入場客数(万人)	開催時期	開催場所
黒崎イルミネーション2023	42.1	令和5年 11月14日～令和6年 2月18日	八幡西区
折尾イルミネーション	34.2	令和5年 11月24日～令和6年 2月16日	八幡西区
北九州マラソン2023	24.5	令和5年 2月19日～令和5年 2月19日	市内
エコライフステージ	15.4	令和5年 11月11日～令和5年 11月12日	小倉北区
市制60周年記念 ポップサーカス北九州公演	6.0	令和5年 10月 7日～令和5年 12月10日	八幡東区
北九州アイススケートセンター	6.0	令和5年 1月 1日～令和5年 12月31日	小倉北区
夏の特別展「恋するいきもの展」	5.8	令和5年 7月15日～令和5年 9月18日	八幡東区
トミカ博 in KITAKYUSHU	5.8	令和5年 7月10日～令和5年 7月19日	小倉北区
開館20周年記念 春の特別展「世界の野生ネコ科展」	5.6	令和5年 3月 4日～令和5年 5月 7日	八幡東区
数理工学博士がつくる錯覚の世界 どうなっとーと？展	4.1	令和5年 7月15日～令和5年 9月24日	八幡東区

(注) 終了が翌年にまたがっているイベントに関しては、開催日数をもとに12月までの期間で案分計算した人数を集計対象とした。

2 | 調査について

1 調査方法

- 観光客数(延べ人数)

観光施設及び行祭り・イベントを訪れた人数の合計。

集計対象は、観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準」(平成21年12月策定, 平成25年3月改定、令和5年5月改定、以下、「共通基準」) に準じ、観光客数が年間1万人以上、または特定月において5,000人以上である観光施設や行祭りイベントとした。

- 観光客数(実人数)

観光施設を訪れた日帰り客数と、宿泊旅行統計調査(観光庁提供)による宿泊客数等を基に、共通基準に準じて推計した人数。

- その他の項目については、本市独自の手法で算出。

2 用語の定義

- 観光

余暇、ビジネス、その他の目的のため、日常生活圏を離れ、継続して1年を超えない期間の旅行をし、また滞在する人々の諸活動をさす。

- 観光地点

観光・ビジネス等の目的を問わず、観光客を集客する力のある施設又は観光活動の拠点となる地点を意味し、日常的な利用、通過型の利用がほとんどを占めると考えられる地点は対象としないこととする。

- 行祭り・イベント

行祭りとは、地域住民の生活において伝統と慣行により継承されてきた、恒例として日を定め執り行う歴史的催し・祭り、郷土芸能等の集合を意味し、イベントとは、常設または特設の会場施設において行われる博覧会、見本市、コンベンション等をさす。

※数値・構成比について

文中・図表における数値・構成比は四捨五入しているため、合計値と異なる場合がある。